

JST 大学発新産業創出基金事業

スタートアップ・エコシステム共創プログラム

スタートアップ創出プログラム

KSAC-GAPファンド 説明資料

2024年4月

関西スタートアップアカデミア・コアリション

主幹機関 京都大学



関西スタートアップアカデミア・コアリション -KSAC-

関西圏の大学や、産業界・金融機関・自治体等70以上の機関が参画し、地域や組織を超えて連携しながら人材・研究課題・資金の好循環をつくり、関西における起業家の裾野拡大や大学発スタートアップの連続的創出により、世界に伍するスタートアップ・エコシステムの構築をめざすプラットフォーム。

学

京都大学 大阪大学 神戸大学 京都工芸繊維大学 奈良先端科学技術大学院大学 奈良女子大学 滋賀大学 滋賀医科大学 京都府立大学 京都府立医科大学 大阪公立大学 兵庫県立大学 奈良県立医科大学 京都産業大学 京都女子大学 京都精華大学 京都先端科学大学 同志社大学 立命館大学 龍谷大学 大阪工業大学 関西大学 近畿大学 関西学院大学 甲南大学 長浜バイオ大学

26

大学

産

関西経済連合会 関西経済同友会 京都経済同友会 京都商工会議所 大阪商工会議所 神戸商工会議所 京都産業21 京都高度技術研究所 国際電気通信基盤技術研究所 中小企業基盤整備機構 LINK-J NTT西日本 三菱商事

13

産業界

金

三井住友銀行 三菱UFJ銀行 みずほ銀行 りそな銀行 京都銀行 池田泉州銀行 みなと銀行 関西みらい銀行 京都中央信用金庫 京都信用金庫 三井住友海上 京都iCAP OUVV 日本ベンチャーキャピタル SMBCベンチャーキャピタル 三菱UFJキャピタル 京銀リース・キャピタル 池田泉州キャピタル 中信ベンチャーキャピタル 京信ソーシャルキャピタル グローバル・ブレイン ジャフコグループ

22

金融機関

官

京都府 京都市 大阪府 大阪市 堺市 兵庫県 神戸市 滋賀県 奈良県 関西広域連合 関西文化学術研究都市機構

11

自治体

大阪産業局 京都知恵産業創造の森

2

事務局



JST採択事業: 大学発新産業創出基金事業 スタートアップ・エコシステム共創プログラム(2024.1-2028.3)

スタートアップ創出プログラムの構築・運営

- 研究開発費(事業化に向けて、研究機関の研究成果と事業化の間を埋めるため、ビジネスモデルのブラッシュアップ、試作品製作、仮説検証のためのデータ(実験結果、計算結果)等の整備を進める資金=「GAPファンド」)の助成
- 起業支援人材によるハンズオン支援
- 経営者候補人材供給機能の構築

スタートアップ・エコシステムの構築に向けた環境整備

- 海外拠点の開設やスタートアップの海外展開を支援するための国際展開機能の強化
- プラットフォーム内外での連携強化
- プラットフォームの持続可能な運営を目的とした自走化の仕組み作り
- 起業に向けた大学等のルール・規程の整備

JST採択事業:

研究成果展開事業 社会還元加速プログラム(SCORE) 大学推進型(2021.4-2022.3)
研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(START) 大学・エコシステム推進型(2021.11-2025.3)

起業活動支援

起業家人材育成

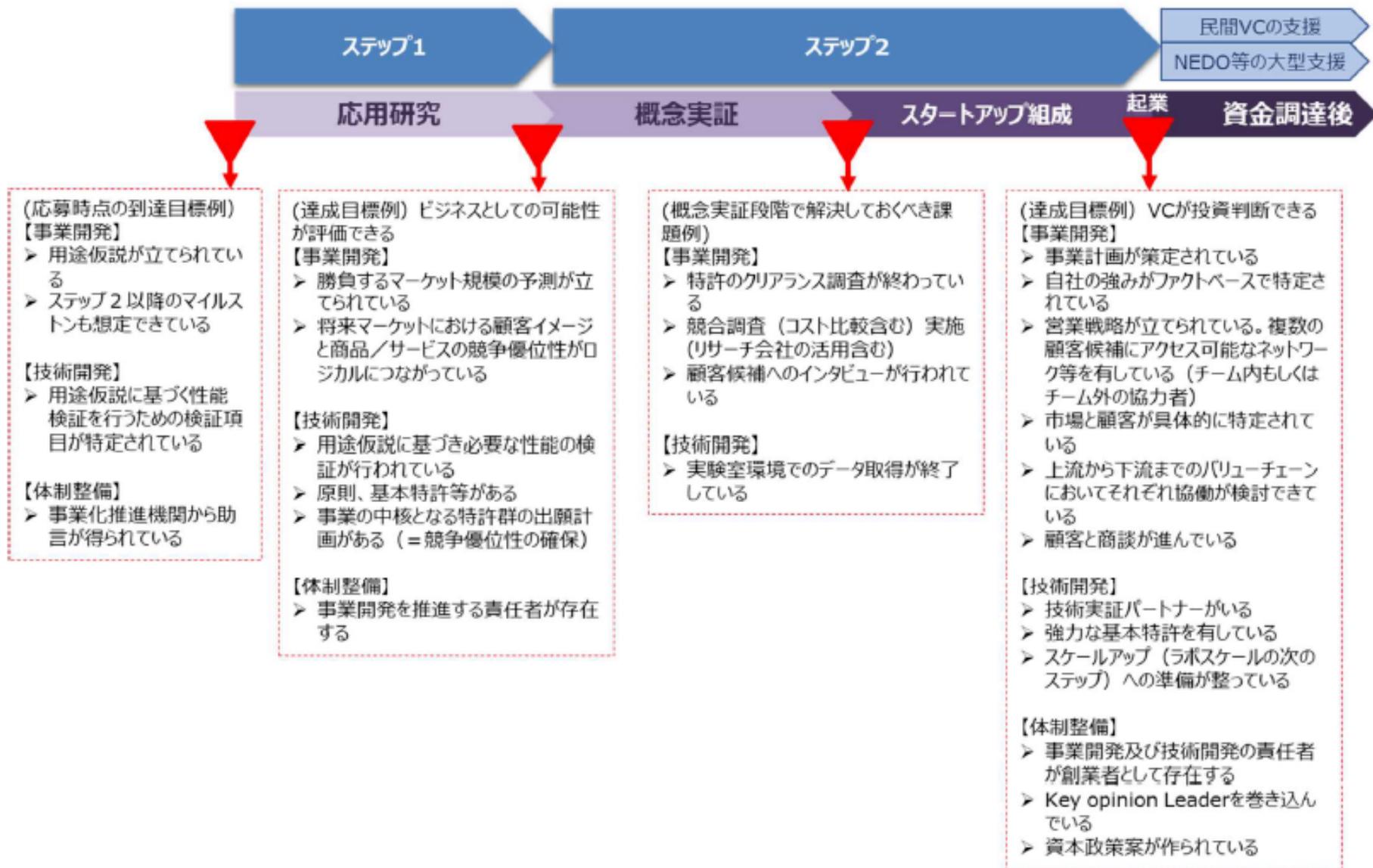
起業環境整備

エコシステム形成

ステップの定義

	ステップ1	ステップ2	
	応用研究	概念実証	スタートアップ組成
対象	基礎研究の成果について、ビジネスとしての可能性を評価できる段階まで引き上げることを目指す。	ビジネスとしての可能性の評価と実証(PoC)を行い、起業にあたってのクリアすべき課題の解決を目指す。	概念実証の取組に加え、大学等発SUの組成とVCが投資判断できるレベルに向けて、PoCを継続して実施する。
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ● KSAC-GAP VI ● KSAC-GAP PSF ● KSAC-GAP OD ● KDAC-GAP BCB 	<ul style="list-style-type: none"> ● KSAC-GAP PMF 	

スタートアップの創出を目指した研究開発は、新しい現象の発見等を目指す基礎研究とは異なり、スタートアップの設立に向けた事業化の観点からの研究開発が必要になり、さらに研究開発だけではなく、事業開発も必要となります。KSAC-GAPファンドでは、基礎研究の成果からスタートアップ創出に至るまでの事業開発研究開発を2つのステップに分けて考えています。





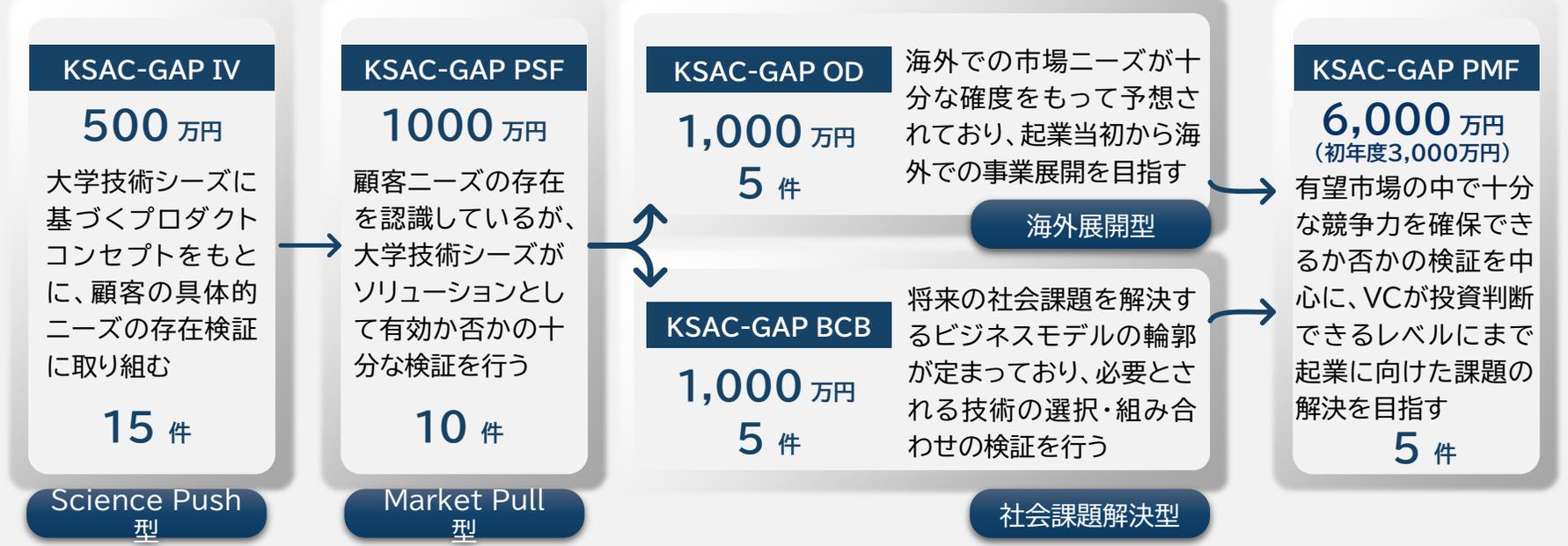
KSAC-GAPファンドでは、基礎研究の成果からスタートアップ創出に至るまでの事業開発と研究開発を2つのステップに分けて構成。

ステップ1:基礎研究の成果についてビジネスとしての可能性を評価できる段階まで引き上げることを目指す。

ステップ2:ビジネスとしての可能性の評価と実証(PoC)を行い、起業にあたってクリアすべき課題の解決を目指すことに加え、大学等発スタートアップの組成とVCが投資判断できるレベルに向けて、PoCを継続して実施する。

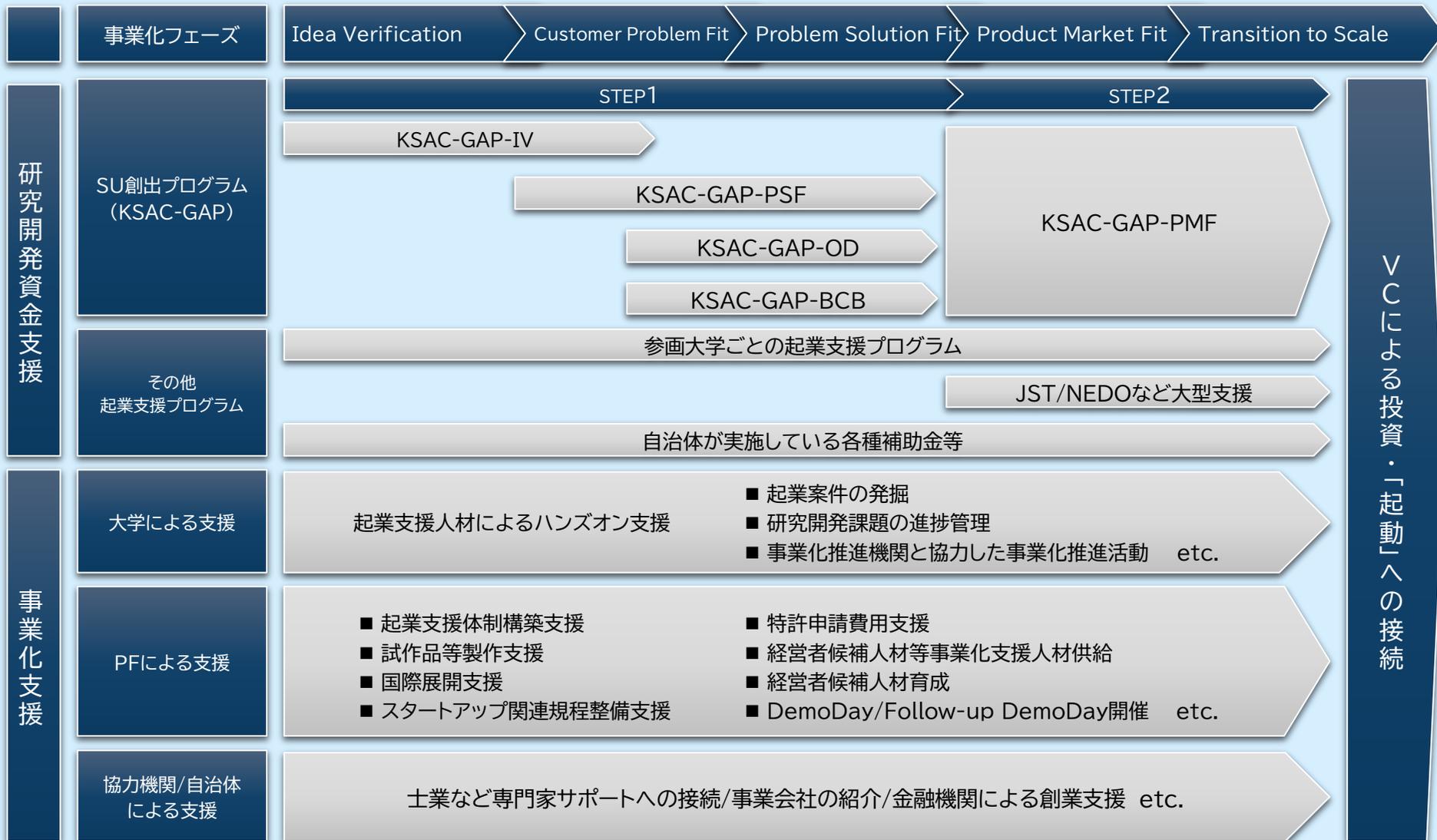


事業化フェーズ



※ 上記表中下段の数字は今回の公募における採択予定件数

審査項目	主な着眼点
明確なマイルストーン設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 基金事業が想定するマイルストーンが適切に設定されているか ● 募集するプログラムごとに想定するマイルストーンおよび達成目標が設定されているか
技術シーズ・知財の状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規性、独創性はあるか ● 技術開発力、実現可能性に問題はないか ● 知財戦略は適切か
事業性	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスモデル(想定する商品、サービス、顧客等)は具体的か ● マーケットインする市場の規模、成長性、獲得見込みのシェア ● 事業化までのプロセス(事業計画、資金計画)は妥当か
終了時点での目標達成に向けた実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究開発課題を研究開発面、事業化面ともに着実に進められる体制が構築できているか
競合分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術シーズに関して、競合技術に対する優位性は見られるか ● 事業において、競合他社に対する優位性は見られるか、また、差別化は図られているか
ソーシャルインパクト	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会、経済にインパクトを生み、国際展開を含め事業成長するポテンシャルを有しているか ● 社会に対して新たな価値の創造につながっているか ● SDGsやカーボンニュートラルなど、社会課題の解決に資する提案となっているか(社会貢献性等)





募集開始	令和6年3月21日(木)	
オンライン公募説明会	第1回	: 令和6年4月10日(水) 12:00-13:00
	第2回	: 令和6年4月11日(木) 18:00-19:00
	第3回	: 令和6年4月12日(金) 18:00-19:00
	説明会の内容はすべての回において同じものとなります。	
申請書等提出期限	令和6年5月24日(金) 正午【厳守】	
一次審査(書面審査)	令和6年6月下旬頃～令和6年7月中旬頃	
二次審査(面接審査)	令和6年8月中旬頃	
採択結果(内定)の通知	令和6年8月末頃	
プログラム開始	令和6年10月1日(予定)	

- ※ 一次審査を通過した研究代表者には、二次審査のスケジュールおよび面接審査資料作成・提出について別途通知します。
- ※ 本プログラムにKSACで採択された研究開発課題については、プログラム開始前に所定の研究計画書等を作成し、JSTに提出する必要があります(詳細は採択決定後にご連絡します)。また、JSTへ提出した研究計画書等の内容によっては、JSTにより採択が取り消される可能性があります。

Appendix

ステップ・種類		ステップ1・通常枠
プログラム名		KSAC-GAP IV:Idea Verification
支援対象課題		大学技術シーズに基づくプロダクトコンセプトをもとに、顧客の具体的なニーズの存在検証に取り組む研究開発課題
支援対象者		主幹機関もしくはSU創出共同機関の大学等に所属している研究者等もしくは学生
支援金額(最大)		500万円
支援期間(最長)		1年間
マイルストーン	事業化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 顧客とマーケットについて検討方法を決めている。
	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特許の請求項が想定できている。 ■ サービスの内容と顧客ニーズとの対応との検討ができている。
達成目標	事業化	<ul style="list-style-type: none"> ■ マーケットの規模が見積もれている。 ■ 数件のヒアリングを終え、顧客のペイン・ウォンツを把握している。 ■ 経営者候補人材に求められるスキル・ネットワークが明らかになっている、あるいは適性が判断される。 ■ 研究開発の成果が事業化・社会実装についてポテンシャルを有しているのか判断できている。
	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロトタイプの製作に目処が立っている。 ■ 特許出願あるいは出願準備が完了している。

ステップ・種類		ステップ1・特別枠
プログラム名		KSAC-GAP PSF:Problem Solution Fit
支援対象課題		顧客ニーズの存在を認識しているが、大学技術シーズがソリューションとして有効か否かの十分な検証を行う研究開発課題
支援対象者		主幹機関もしくはSU創出共同機関の大学等に所属している研究者等
支援金額(最大)		1000万円
支援期間(最長)		1年間
マイルストーン	事業化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 顧客とマーケットについて検討方法を決めている。
	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 顧客のペインに対応したプロダクトやサービスのブループリントが想定できている。
達成目標	事業化	<ul style="list-style-type: none"> ■ マーケットの規模が見積もれている。 ■ 数件のヒアリングを終え、顧客のペイン・ウォンツを把握している。 ■ 経営者候補人材に求められるスキル・ネットワークが明らかになっている、あるいは適性が判断される。
	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ MVP(Minimum Valuable Product)の検討を終えている。 ■ 優先権主張出願等により応用特許を含め、幅広く権利化できているか。

ステップ・種類		ステップ1・特別枠
プログラム名		KSAC-GAP OD:Overseas Deployment
支援対象課題		海外での市場ニーズが十分な確度をもって予想されており、起業当初から海外での事業展開を目指す研究開発課題
支援対象者		主幹機関もしくはSU創出共同機関の大学等に所属している研究者等
支援金額(最大)		1000万円
支援期間(最長)		1年間
マイルストーン	事業化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際展開の合理性について判断すべき点を洗い出している。 ■ 顧客とマーケットについて検討方法を決めている。
	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 顧客のペインに対応したプロダクトやサービスのブループリントが対象地域に沿った内容であることが検討されている。
達成目標	事業化	<ul style="list-style-type: none"> ■ マーケットの規模が見積もれている。 ■ 数件のヒアリングを終え、顧客のペイン・ウォンツを把握している。 ■ 経営者候補人材に求められるスキル・ネットワークが明らかになっている、あるいは適性が判断される。 ■ 事業開発を推進する責任者が絞り込まれている。 ■ ステップ2以降のマイルストンの想定ができています。
	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロダクトあるいはサービスの最初のインタビューを終え、顧客エンゲージメントを得ている。

ステップ・種類		ステップ1・特別枠
プログラム名		KSAC-GAP BCB:Back-Casted Business
支援対象課題		将来の社会課題を解決するビジネスモデルの輪郭が定まっており、必要とされる技術の選択・組み合わせの検証を行う研究開発課題
支援対象者		主幹機関もしくはSU創出共同機関の大学等に所属している研究者等
支援金額(最大)		1000万円
支援期間(最長)		1年間
マイルストーン	事業化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会課題へのアプローチについて他の方法に対する優位性の検討をしている。 ■ 顧客とマーケットについて検討方法を決めている。
	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会課題解技術開発のロードマップを想定できている。 ■ 特許の請求項が想定できている。
達成目標	事業化	<ul style="list-style-type: none"> ■ マーケットの規模が見積もれている。 ■ 数件のヒアリングを終え、顧客のペイン・ウォンツを把握している。 ■ 経営者候補人材に求められるスキル・ネットワークが明らかになっている、あるいは適性が判断される。 ■ 事業開発を推進する責任者が絞り込まれている。 ■ ステップ2以降のマイルストンの想定ができている。
	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性能の検証が行われ、プロダクトやサービスの競争優位性が検証され、顧客イメージにつながっている。 ■ 特許出願あるいは出願準備が完了している。

ステップ・種類		ステップ2・通常枠
プログラム名		KSAC-GAP PMF:Product Market Fit
支援対象課題		有望市場の中で十分な競争力を確保できるか否かの検証を中心に、VCが投資判断できるレベルにまで起業に向けた課題の解決を目指す研究開発課題
支援対象者		主幹機関もしくはSU創出共同機関の大学等に所属している研究者等
支援金額(最大)		6000万円(初年度3000万円)
支援期間(最長)		2年間
マイルストーン	事業化	<ul style="list-style-type: none"> ■ ビジネスモデルおよびロードマップの検証を終えている。
	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ MVP(プロダクト)の規格を決定している。
達成目標	事業化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特許のクリアランス調査を終えている。 ■ 競合調査を実施している。 ■ MVP(プロダクトやサービス)がアーリーアダプターに適合していることを検証している。
	研究開発	<ul style="list-style-type: none"> ■ MVP(プロダクト)の性能の検証を終えている。 ■ MVPの改善が行われている、あるいは早期のピボットを終えている。

京都大学 成長戦略本部

エコシステム構築領域

Mail:venture-incubation02@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp